

News letter

Challenge! 授業や課題の難易度、課題量について

今年度第1回の部会では、授業や課題の難易度、課題量をテーマに、教職員と学生によるディスカッションを実施しました。

双方の考え方を共有する機会に

6～7名の2グループに分かれて活発な意見交換が行われ、双方の考え方を共有する機会となりました。以下、主な意見を紹介します。

「履修登録単位数が多い1,2年次は、課題の難易度が易しめ、量が少なめだとよい。逆に年次が上がり履修登録単位数が少なくなれば、難しめ・多めとなっても学びを深めることができる」(学生)

「授業や課題の難易度について、教員の中には『どちらかといえば難しい』がちょうどよいのではないかという声がある」(教員)

「テストの一発勝負よりも、授業回の中で、課題があったほうがよい」(学生)

「課題に対するフィードバックがあるとよい」(学生)

「資格取得のための学修などを事前・事後学修時間に含めていない学生が多いように思う」(学生)

「教員側は自分の授業科目の課題量しか分からないが、学生からするとそれが5科目、10科目となると負担が大きくなるだろうと感じた」(教員)

部会の主な協議事項**授業評価について**

「学修に関するアンケート」の活用

アンケート結果を踏まえながら、設問の見直しや、カリキュラム、大学の学修環境などの改善について、ディスカッションをします。

学修成果について

学修成果とは何か？身に付いているか？

授業など、大学での学びを通じて、身に付けるべき資質・能力(学修成果)は身に付いているか？、学修成果とは何か？ディスカッションをします。

カリキュラムについて

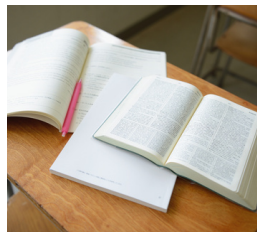
カリキュラムは機能しているか？

目指したい姿、養成したい人物像の育成のために必要な科目が開講されているか？順序立てて学べているか？ディスカッションをします。

Pickup! 部会の学生代表を追加！

これまで、学生・教職員FD推進部会のメンバーのうち学生代表は学部から1名ずつとなっていました。今回開催した部会において、より多くの学生の意見を聴取するため、複数学科を有する学部については各学科から学生を1名ずつ選出するよう変更することになりました。

早速、2026年度第2回の部会(12月開催予定)から学生代表が追加となり、12名の学生が参加する予定です。学生の皆さんからの意見をもとに、より良い学びの環境を提供できるよう、今後も取り組んでまいります。

**部会の開催概要****構成員について**

全7学部から、教員及び学生を1名ずつ、学部から代表として選出します。また、教学に関する事務局から職員2名も参加します。教務部長を部会長とし、全17名で構成しています。

※2026年度第2回から学生代表を追加予定

開催頻度について

年に2回、前後期に開催します。

学生さんの声を大募集！アンケートにご協力ください

より良い学修環境を目指し、学生の皆さんのご意見をお聞かせください。前期と後期に実施している「学修に関するアンケート」では、学びの状況や教育改善に関するご意見を募集しています。皆さんの声により良い大学づくりにつながりますので、ぜひ積極的にご回答ください。アンケートはオンラインで簡単に回答できます。

[教学IR\(学修に関するアンケート結果はこちらから！\)](#)

[過去のNews letterはこちらから！](#)

